

子ども・議会体験プログラム



未来の市議会議員が
議会を体験!

7月25日(水)に、狭山市議会の委員会室と議場などを会場に、「子ども・議会体験プログラム」を開催しました。



オリエンテーションで今日の流れを確認



子ども議員をお出迎え



発言に真剣に耳を傾ける子ども議員



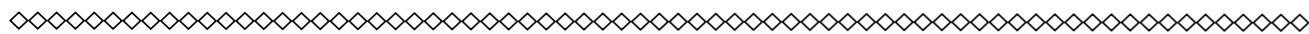
議場で委員長は審議内容を報告



各委員会に分かれて議案を審議



総員賛成で議案を可決



採決の結果

平成30年第2回定例会では、市長提出議案9議案と議員提出議案1議案を審議し、採決の結果、すべての議案を同意・可決しました。

◆賛否が分かれた議案

○…賛成、×…反対、退…退席 ※議長は採決には参加しません

議案番号	議案名	創政会		創造				公明党		日本共産党		新設みらい		はつらつ狭山		無所属							
		千葉	笹本	三浦	田村	新良	西塚	金子	矢馳	町田	綿貫	加賀谷	齋藤	磯野	望月	大沢	猪股	土方	内藤	中村	大島	太田	高橋
63	議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部改正	○	○	○	○	議	退	退	退	退	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
69	平成30年度狭山市一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○

◆全員が賛成した議案

市長提出議案/人事教育委員会委員の任命(宮崎英子氏) 条例の一部改正 市税条例等、特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例、介護保険条例、産業労働センター条例、市営住宅条例 その他/市道路線の廃止 議員提出議案/児童虐待防止対策の拡充を求める意見書

そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問のようすは、インターネットで配信をしています。2次元コードから、該当議員の動画へアクセスできます。(パソコンやスマートフォンで視聴できます。閲覧可能期間は2年間です)

入曽駅周辺整備事業は、市民の思いを形に
中村 正義(はつらつ狭山)



録画配信の
2次元コード

◆行政の思惑だけで進める事のないように

市の計画案で進めたいという気持ち強いと感じるが、意見や疑問、パブリックコメントなどをどのように感じ、どのように活かして市民のための事業を進めるのか。

市長 これまでも事あるごとに、本事業への理解を求めると同時に、意見を伺ってきている。寄せられた意見は、真摯に受け止め、参考にすべきも



入曽の街に安全と活性化を

のは内容を精査し、可能な限り、事業に反映させていきたいと考えている。

意見をどう活かして市民のために本事業を進めていくのかについては、今後、事業を進めていく上で、駅周辺の安全性と利便性の向上、入曽の活性化に資するよう、建設的な議論が不可欠であると考えている。

◆商店街・地域の活性化をどう考えるか

商店街などの活性化策について、複合型商業施設を公募する際、駅周辺の活性化に資する具体的な提案を求めると言うが、どのような方法で求めるのか。

都市建設部長 入間小学校跡地に立地する複合型商業施設を公募する際に求める駅周辺の活性化に資する提案の内容は、平成30年度、募集要項を作成する中で具体的に検討していきたいと考えている。

その他のテーマ▶県道の雨水排水、交通対策を

狭山市のこれからのまちづくりとサピオ稲荷山の存続

大島 政教(はつらつ狭山)



録画配信の
2次元コード

◆公共施設再編計画

①狭山市の公共施設統廃合の目的は。
②公共施設再編成をどのように進めるのか。
③「サピオ稲荷山」は、狭山市の大きな街の魅力であり、利用者の声や、市民の声に耳を傾けることが、市民協働のまちづくりの要諦では。

市長 ①人口減少などが進み、厳しい財政運営が予測される中で、現在の施設をそのままに維持



サピオ稲荷山温水プール
HPより

していくことは困難であり、次世代へ負担を残すことなく、必要な公共施設サービスを未来へ継続していくために、既存の公共施設のあり方を見直し、真に必要な公共施設サービスを提供していくものである。

②公共施設再編計画に基づき進めていくが、地域住民や利用者への説明や意見聴取にも十分配慮して再編を進めていく。再編の手法はさまざまであり、施設の単純廃止、複数の施設の機能集約化、運営を民間に移管するもの、近隣の自治体と共同運営に移行するものなど。個々の施設の特性や地域の状況などを踏まえて進める。

③地元自治会などへの説明を実施し、施設を存続してほしいとの意見が多く出されたため、民営化の方針を変更した。今後も、地元自治会や利用者へ説明を行い、意見などを聞いていきたい。協働のまちづくりで目指すのは、狭山市の実情や、厳しくなっていく将来の情報を共有し、議論をして進んでいこうというものである。